

東胆振地域ブランド推進計画

2021 2023
(令和3年度～令和5年度)

令和3年(2021年)4月

東胆振地域ブランド創造協議会

1. 計画策定の趣旨

人口減少社会を迎えたわが国では、地方活力の維持・発展が喫緊の課題となっています。

現在、各地で展開されている地域ブランドへの取組は、地域の産業を活性化させ、関係人口を増やし、共感、愛着をもたらす定住者を呼び込むことが期待できます。こうした状況を踏まえ、地方では今後「選ばれるまち」を目指すことが必要であり、まちの個性を明確にし、地域の魅力に磨きをかけていかなければなりません。

東胆振地域ブランド創造協議会は、平成22年12月設立以降、こうした状況を打破するために「東胆振地域ブランド推進計画」を策定し、1市4町での総合的・横断的な取組を行い、広域連携による地域ブランドの創出・発信を行ってきました。また、平成27年3月、苫小牧市を中心市として白老町・厚真町・安平町・むかわ町の4町との間で定住自立圏の形成に関する協定を締結し、新たな広域連携の枠組みがスタートしました。この協定において、本協議会が取り組むプロジェクトは、東胆振地域の産業振興事業の一つに位置づけられており、観光振興を通じて、東胆振全体の活性化を目指す重要な役割を担っています。

本推進計画は、これまでの事業の成果や課題を踏まえ、従前計画の見直しや時代に沿った新たなプロジェクト提案等を行うことで、効果的に事業を実施し、目標達成できるよう策定するものです。



安平町：D51



厚真町：ハスカップ

2. 「地域ブランド」とは

その地域に存在する自然や歴史、文化、食、観光地、特産品、産業などの「付加価値」を高め、他との差別化を図ることにより、これらの地域資源は、市場において情報発信力や競争力の面で優位性を持つようになると思います。地域ブランドとは、そのような「付加価値」が高められた地域資源が、地域住民の愛着や誇りだけでなく、旅行者や消費者等に共感、愛着、満足をもたらすものであります。本推進計画では、この地域ブランドを推進することにより、交流人口を増やし、東胆振地域全体の活性化へとつなげていきます。

3. 推進計画の目標

東胆振地域は、豊富な食材や物産、自然環境など様々な資源に恵まれた地域であり、これらを活かした観光の魅力づくりが各まちで行われています。また、アクセス面では、札幌圏や新千歳空港に近接し、苫小牧西港・東港を有するなど地理的にも恵まれており観光・物流面でのポテンシャルは非常に高い地域と言えます。

また、昨年7月には、白老町に「民族共生象徴空間（ウポポイ）」が開業し多くの観光客が東胆振地域を訪れたほか、同じく12月に「苫小牧中央インターチェンジ」が開通となったことから、苫小牧市中心部へのアクセスが向上するなど、新たな人の流れが生まれることが期待できます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、不要不急の外出を控える等、とりわけ飲食店や観光業に大きな影響を及ぼしています。この状況下において、「withコロナ」時代の事業を展開することで、持続可能な地域を目指します。

4. 計画期間

前回計画より、計画期間を3年間としたことから、本推進計画の計画期間は令和3年度から令和5年度までの3年間とし、毎年度必要に応じて見直しを行います。

5. 課題

これまでに、地域ブランドの発信を達成するため「東胆振スープ3種」など、商品開発を行ってきたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者選定が思うように進まなかったこと、また、スープを販売する機会が少なかったことなど実現が難しい状況となっていることから、再度、商品化に向けた活動を行っていきます。

「東胆振ファンプロジェクト」については、利用者のニーズに合致するようなものになるよう、さらなる協賛事業者の獲得を目指してまいります。

コロナ禍における情報のアップデートを行い、PR事業に注力するなど状況に応じた地域ブランドの発信を行います。

むかわ町：恐竜レプリカ



6. ターゲット

各事業を展開する上でのターゲットについては、東胆振周辺地域・札幌圏を中心とし、中長期的に道内全域、道外、海外からの集客を促す事業を、戦略的に実施していきます。いずれの事業も、道内の他地域には無い、東胆振地域の独自性とブランド力を発信できるよう、ターゲットを明確に定め展開していきます。

7. 事業内容

【基本方針】

(1) 東胆振の「食」「観光」「遊（レジャー）」の情報発信を効率的に行います。

東胆振の「食」「観光」「遊（レジャー）」というテーマを中心に、東胆振地域の魅力を、引き続き様々な形で発信していきます。これまでの本協議会の事業で得た成果を十分に活用し、東胆振地域に実際に足を運んで魅力を感じてもらい、地域全体の関係人口が増えるよう、効果的な情報発信に務めます。

<具体的な事業>

①各種イベントでのプロモーションの実施

・東胆振地域でのPR

東胆振地域の魅力を地域外に発信するためには、東胆振地域内の方々に、その魅力を理解してもらうことが重要と考えます。地域内における理解を深めるために、各まちの主要観光施設等に設置している東胆振PRコーナーでの情報発信や、地域のイベント等における協議会PRブースの設置などを行い、東胆振地域の魅力を発信します。また、苫小牧駅に隣接する「COCOTOMA（ココトマ）」、白老町の「民族共生象徴空間（ウポポイ）」や安平町の「道

の駅あびらD51ステーション」等、地域内外の人が集まる施設と連携したプロモーションにも努めていきたいと考えております。

・札幌圏でのPR

東胆振地域は札幌圏から地理的に近い距離にあるため、札幌圏でのPRを実施することにより、更なる東胆振地域への来訪者を獲得し、交流人口の増加を目指します。また、札幌圏には道内外・国内外問わず、様々な層の観光客が集まることから、道外やインバウンドに向けて、効果的に東胆振地域の魅力を発信することができます。

②パンフレットや冊子による情報発信

東胆振独自の様々な観光資源をパンフレットや冊子にまとめ、情報発信を行います。新たなものを作成するだけでなく、これまでに本協議会が作成した既存のパンフレットや冊子のブラッシュアップを行うなど、効率的な情報発信を行います。

③SNSやWEB等の活用による情報発信

本協議会のFacebookなどのSNSを活用して、情報の発信を行います。本協議会の活動だけではなく、各まちのイベントや観光情報も発信することで、東胆振地域の魅力をリアルタイムで発信し、東胆振地域への関心と知名度向上を図ります。

④観光情報誌や各種雑誌による情報発信

観光情報誌やJR車内誌など広く読まれる媒体に、各まちの旬のイベント情報や季節に合った周遊ルートなどの情報記事を掲載し、東胆振地域への来訪を促します。

⑤【新規】 広域周遊観光促進事業

観光庁の「広域周遊観光促進事業」の予算を活用し、地域内事業者と連携して新たな「教育型旅行コンテンツ」の造成をします。

本事業により、個人旅行客や修学旅行客等の来訪者を増やし、地域内における滞在時間の増加を図っていきたいと考えています。

⑥東胆振ファンプロジェクト事業 (Fun!Fan!東胆振)

令和2年度から開始した本プロジェクトは、東胆振地域に興味関心を寄せ、何度も地域に来訪する、地域製品の消費等に寄与してくれる等、地域に深く関わってくれるファン（関係人口）を地域の事業者と一緒に増やすことを目的に活動しています。

令和2年度には、ファンの数を可視化するプラットフォーム（本協議会公式HP内に会員登録ページ）を作成しております。

令和3年度からは、会員向けメールマガジンの配信、ファン獲得のリアルイベント開催やスタンプラリーの開催等、さらなる会員獲得に向けて様々なプロモーション活動を実施していきます。

ファンが増加することにより、地域への来訪者が増加し、地域内消費を増加していけるように継続的な活動を行っていきます。



ポロトミンタラフェスティバルでの出店

2020. 8.20 THE START!

東胆振ファンプロジェクトとは
東胆振は、苫小牧市、白老町、安平町、厚岸町、むかわ町の1つの市と4つの町からなる地域。その東胆振をますます楽しめるエリアにするため発足したプロジェクトが「Fun! Fan! 東胆振」。メンバー登録（無料）をすれば、各エリアで様々な特典が受けられたりお得がいっぱいです！知られざる魅力的なスポットもあるので、特典を使って東胆振を存分に満喫しちゃいましょう！

メンバー登録は 東胆振地域ブランド創造協議会 公式ホームページから >>> 東胆振ブランド 検索 <http://eastiburibrand.jp/>

本事業は(公)北海道観光振興機構の「令和2年度地域の魅力を活かした観光振興（広域連携事業）」の支援を受けています。

(2) 協議会開発商品のPRと販路拡大を目指します。

これまで本協議会では、「東胆振よくばり弁当」と「東胆振スープ3種」を開発し、これらの商品を通じて東胆振地域のPRを行ってきました。今後も、この東胆振地域の魅力が詰まった協議会開発商品を引き続きPRしていきます。

また、開発から数年経過しているため、内容やメニューの見直しなどの改良を行い、更なるブランド力強化に向けて事業を展開します。

<具体的な事業>

①東胆振スープを活用したPR

東胆振スープは平成26年度に、「白老牛のカレースープ」「厚真産桜姫鶏とむかわ産じゃがいものクリームスープ」「安平産モッツァレラと苫小牧産トマトの冷製スープ」の3種類を開発しました。平成27年度から東胆振地域の情報発信拠点でもある「COCOTOMA（ココトマ）」で販売しています。今後は、より多くの方に食してもらうため、販路拡大や加工品としての商品化を目指し、事業者選定に向け再度検討を行います。

(3) 産学連携による魅力的なブランドの創造・発信を行います。

東胆振地域のブランド化を推進する上で、各まちの事業者・関係団体や学校との連携は不可欠です。民間事業者のノウハウやネットワーク、学校生徒の新たな視点やアイデアを取り入れることで、地域全体の魅力を最大限引き出し、新たなブランドの創造と発信を協力して行い、地域全体の活性化につなげます。

<具体的な事業>

①協議会開発商品へのアイデア出しやデザインの制作

協議会開発商品の改良等を進める際に、専門の知識をもつ民間事業者や学校生徒からのアイデアや意見をいただき、既存商品のより一層の魅力向上に向けて連携を行います。



白老町：国立アイヌ民族博物館
提供：（公財）アイヌ民族文化財団



苫小牧市：
苫小牧中央インターチェンジ

東胆振^{いぶり}地域ブランド創造協議会

(苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町)

【事務局】

苫小牧市総合政策部まちづくり推進室まちづくり推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

T E L 0144-32-6062

F A X 0144-32-3808
